

# 中小企業の将来を見据えた事業承継について

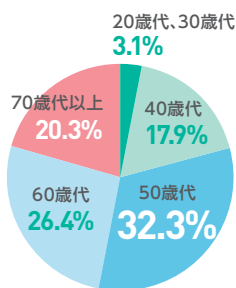
事業承継では、経営権・経営資源・物的資産という3つの要素を引き継ぎますが、具体的には代表取締役社長の地位を託し、経営権、実務のノウハウ、情報、事業用資産などを譲渡することで、事業承継が完了します。現状、多くの中小企業が後継者不足に悩んでいることから、テレビや新聞などのメディアで頻繁に取り上げられています。そのような状況のなか「中小企業の将来を見据えた事業承継について」アンケートの実施をいたしました。

調査時期 / 2023年8月16日～9月5日 調査対象企業数 / 1601社 有効回答数 / 508社 有効回答率 / 31.7% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

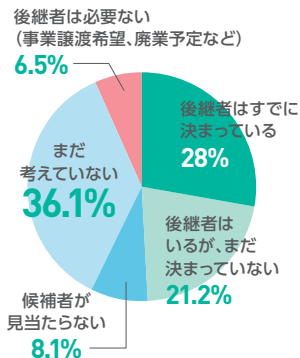
## Q1

貴社の社長(代表者)の年齢階層はいずれに属しますか。また、貴社の後継者問題について最も当てはまるものをお答えください。 ※それぞれ1つ選択

社長の年齢階層

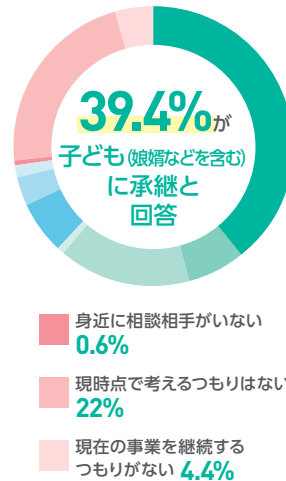
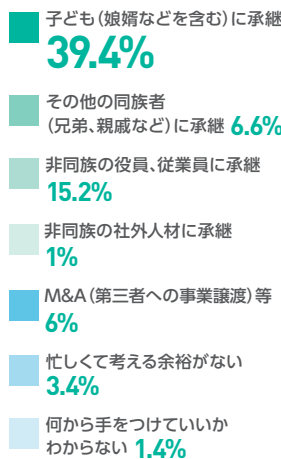


後継者について



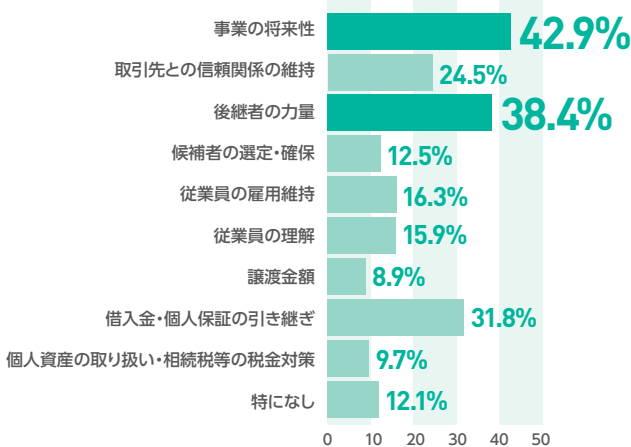
## Q2

貴社の現時点における事業承継の考え方について最も当てはまるものをお答えください。 ※1つ選択



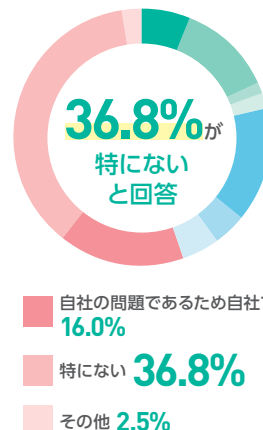
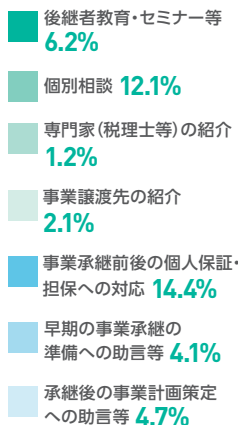
## Q3

貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。 ※最大3つ選択



## Q4

中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、お答えください。 ※1つ選択



## Q5

近年、中小企業におけるM&A(第三者への事業譲渡)が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。 ※最大3つ選択

